

The Kita Osaka Shinkin Bank

北おおさか信用金庫  
**景況レポート**

2015年7～9月期 **No.7**

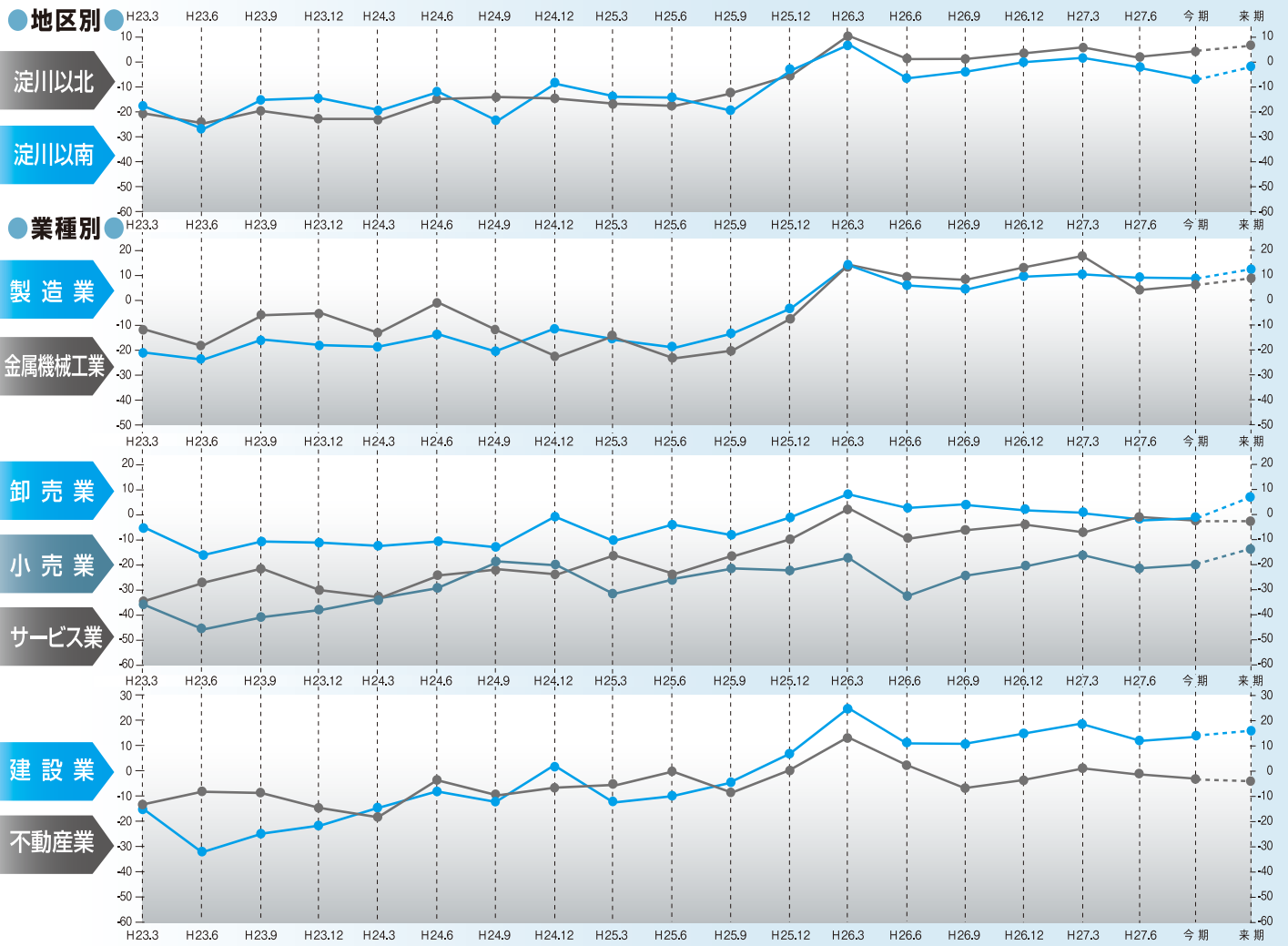
Business  
Condition  
Report



この街の未来をひらく

北おおさか信用金庫

地区別・業種別  
業況判断DIの推移



## INDEX

- 地区別・業種別 業況判断DI 来期予想までの推移・目次……………1
- 調査概要……………2
- 全業種総合……………3・4
- 製造業……………5
- 金属機械工業……………6
- 卸売業……………7
- 小売業……………8
- サービス業……………9
- 建設業……………10
- 不動産業……………11
- 特別調査「マイナンバー制度」対応の準備について…12・13・14

**〈調査概要〉** 調査対象……地元企業1,200社(有効回答1,200社)  
 調査時期……平成27年9月  
 調査対象期間…平成27年7月～9月期 当期の実績 (27年4月～6月期との比較)  
                   平成27年7月～9月期 来期の見通し(27年10月～12月期との比較)  
 調査方法……当金庫職員による調査表に基づく聞き取り調査  
 分析方法……DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

●DIとは

各調査項目について「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽・容易」の回答割合から、「悪い」「減少」「低下」「不足」「苦しい・難しい」の回答割合を差引いた数値です(普通、変わらず、適正は除外しております)。

(例) 良い10%、やや良い20%、普通30%、やや悪い15%、悪い25%の場合

①良い = 良い10% + やや良い20% = 30%

②悪い = 悪い25% + やや悪い15% = 40%

DI = ① - ② = ▲10

●調査内容と注意点

- (1) 売上額、収益、受注残高、販売・仕入価格、在庫、資金繰り、残業時間は前期と比べた当期の状況(来期見通しは当期と比べた来期予想)です。
- (2) 業況、人手、借入の難易度は、前期比ではなく、その時点での状況です。

●各判断DIが示す内容

	(プラス)	(マイナス)
業 況	現状 「良い」	現状 「悪い」
売上額・収益	前期比「増加」	前期比「減少」
受注残高・残業時間	前期比「増加」	前期比「減少」
販売価格・仕入価格	前期比「価格上昇」	前期比「価格下降」
(原材料)在庫	前期比「過剰」	前期比「不足」
資金繰り	前期比「楽」	前期比「苦しい」
人 手	現状 「過剰」	現状 「不足」
借入の難易度	現状 「容易」	現状 「難しい」

※DIプラスが良いとは限りません(例:仕入価格判断DIプラスは前期比価格上昇)

■対象企業の業種・従業員別構成

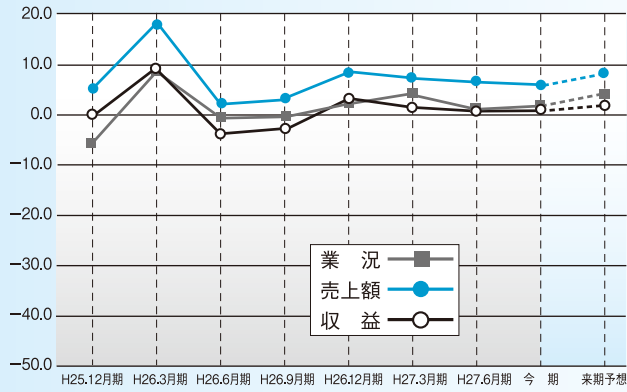
	4名以下	5～9名	10～19名	20～29名	30～49名	50～99名	100名以上	合 計(構成比)	
製 造 業	29	43	57	26	26	8	11	200	16.7%
金属機械工業	42	54	48	27	16	6	7	200	16.7%
卸 売 業	34	34	27	11	5	7	2	120	10.0%
小 売 業	78	28	18	7	3	7	9	150	12.5%
サービス業	51	48	32	14	22	16	17	200	16.7%
建 設 業	51	58	63	14	6	6	2	200	16.7%
不 動 産 業	88	28	10	2	1	—	1	130	10.8%
合 計	373	293	255	101	79	50	49	1,200	100.0%
(構成比)	31.1%	24.4%	21.3%	8.4%	6.6%	4.2%	4.1%	100.0%	—

\*製造業の構成比が他5業種と比較して大きいため、製造業のうち金属機械工業を1業種として分割しております。

●調査地域

淀川以北:島本町、高槻市、茨木市、吹田市、摂津市、豊中市、箕面市、池田市、伊丹市、尼崎市、東淀川区、淀川区、西淀川区 他 淀川以北  
 淀川以南:寝屋川市、門真市、守口市、北区、西区、中央区、城東区、旭区、住吉区、此花区、福島区 他 淀川以南

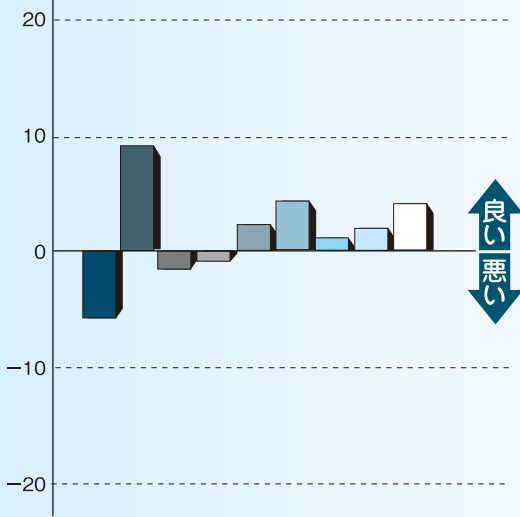
業況・売上額・収益



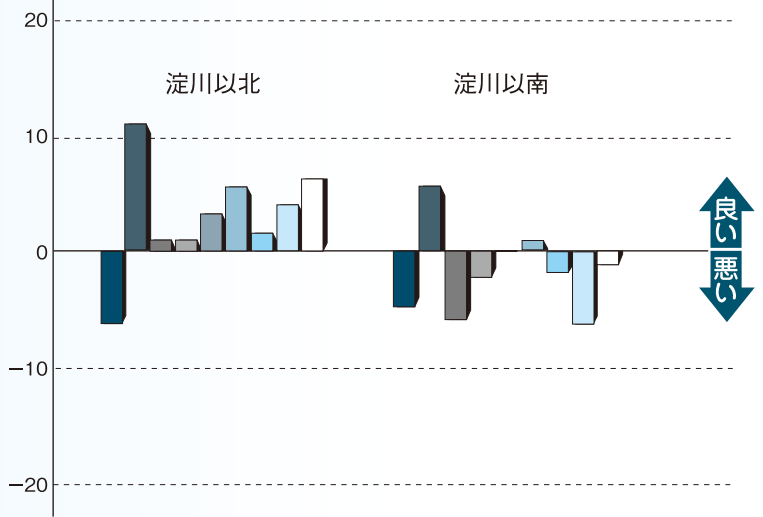
全業種総合 DI値の推移

	H25.12月期	H26.3月期	H26.6月期	H26.9月期	H26.12月期	H27.3月期	H27.6月期	今期	来期予想
業況	-5.4	9.6	-0.9	-0.4	2.5	4.7	1.0	1.7	4.3
売上額	6.1	18.5	1.8	3.6	8.6	7.6	6.6	5.5	8.1
受注残	9.3	26.4	11.5	10.0	16.1	20.6	10.7	15.7	15.8
施工高	23.2	22.7	10.5	6.9	16.5	15.5	8.5	14.0	12.0
収益	0.2	9.5	-4.1	-2.7	3.4	1.5	0.7	0.7	2.3
販売価格	-0.8	3.7	6.0	5.4	3.4	2.9	3.1	0.8	1.6
原材料仕入価格	22.4	21.4	24.4	25.3	23.7	20.4	22.2	15.2	13.3
在庫	0.2	-0.6	-1.6	-2.5	-2.1	0.0	-1.6	-2.4	-2.7
資金繰り	-9.8	-5.8	-6.5	-6.0	-5.8	-7.6	-2.2	-6.3	-7.1
従業員残業時間	5.2	11.2	5.3	5.6	6.7	7.3	4.5	6.4	6.6
従業員人手	-12.9	-12.7	-11.0	-11.5	-13.5	-13.5	-13.6	-14.3	-13.9
設備状況	-7.9	-6.2	-5.9	-6.5	-6.4	-8.5	-6.6	-6.5	-7.0

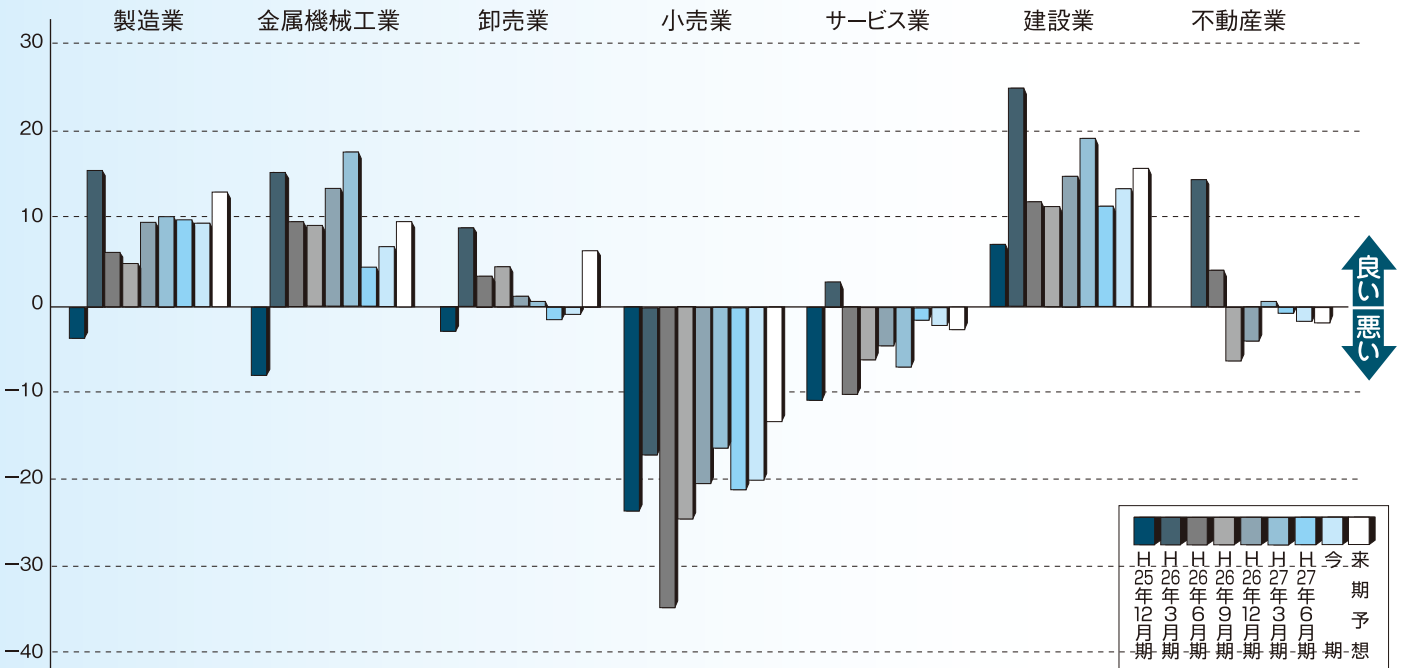
全体業況判断DI



地区別業況判断DI



業種別業況判断DI



## 業況について

### ～2015年7月～9月期、景況感は横ばい～

2015年7月～9月期、全業種の業況判断DIは(前期1.0→)1.7(前期比0.7ポイント増)となり、横ばいで推移した。業況判断DIが最も高かったのは、建設業の14.0、最も低かったのは小売業▲20.0となった。小売業は依然きびしい数値圏にとどまった。

2015年10月～12月期の予想、業況判断DIは4.3(今期実績比2.6ポイント増)となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。

### ～小売業の景況感はきびしさ改善せず～

業種別にみると、対象7業種とも「横ばい」から「ほぼ横ばい」で推移した。業況判断DIが最も高かったのは前回に続き建設業で14.0(前期比2.5ポイント増)となった。順に製造業9.0(前期比0.5ポイント減)、金属機械工業7.0(前期比3.0ポイント増)、卸売業▲0.8(前期比0.8ポイント増)、サービス業▲2.0(前期比0.5ポイント減)、不動産業▲3.8(前期比3.0ポイント減)、小売業▲20.0(前期比1.3ポイント増)だった。

### ～淀川以北の景況感はわずかに向上、淀川以南は悪化～

地域別にみると、業況判断DIは淀川以北地域(前期1.9→)4.3(前期比2.4ポイント増)となり、ほぼ横ばい圏で推移した。淀川以南地域の業況判断DIは(前期▲2.2→)▲7.3(前期比5.1ポイント減)となり、予想外(予想は2.2ポイント増)の悪化となった。2015年10月～12月期予想、業況DIは淀川以北地域が6.2となり、ほぼ横ばいながら2期連続で向上見通しとなった。また淀川以南地域も▲1.8となり、改善する見通しとなった。

## 売上額・収益の動き

### ～売上額、収益とも横ばいで推移、建設業、金属機械工業は改善、卸売業は大幅悪化～

全業種の売上額判断DIは(前期6.6→)5.5(前期比1.1ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移した。業種別では建設業、金属機械工業が改善した。一方、卸売業はかなり大幅に悪化した。また不動産業、製造業も小幅悪化となった。サービス業、小売業はそれぞれ、ほぼ横ばい、横ばいとなった。最も売上額判断DIが高かった業種は、建設業14.5(前期比7.5ポイント増)となった。以下、金属機械工業13.5(前期比5.5ポイント増)、製造業9.0(前期比▲4.0ポイント減)、サービス業7.5(前期比▲2.5ポイント減)、不動産業3.1(前期比▲4.5ポイント減)、卸売業▲4.2(前期比16.7ポイント減)、小売業▲14.6(前期比0.6ポイント減)だった。全業種の収益判断DIは(前期0.7→)0.7(前期比増減なし)となり、横ばいで推移した。業種別では建設業、金属機械工業が改善した。一方、卸売業は大幅に悪化となった。また不動産業、サービス業は悪化、小売業、製造業はほぼ横ばいで推移となった。

2015年10月～12月期予想は、売上額判断DIは8.1、また収益判断DIは2.3となり、ともにほぼ横ばいの見通しとなった。

## 販売価格・原材料・仕入価格の動き

### ～販売価格はほぼ横ばい、原材料・仕入価格は改善の兆し見られる～

販売価格判断DIは(前期3.1→)0.8(前期比2.3ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移した。原材料・仕入価格判断DIは(前期22.2→)15.2(前期比7.0ポイント減)となり、改善となった。1年前の9月期(25.3)以降、ほぼ横ばい圏で推移していたが今回改善が見られた。

2015年10月～12月期予想は、販売価格判断DIは1.6となり、横ばいの見通しとなった。原材料・仕入価格判断DIは13.3となり今期実績から1.9ポイントわずかに改善の見通しとなった。

## 資金繰り・雇用面の動き

### ～資金繰りは小幅に悪化、人手不足感は横ばい～

資金繰り判断DIは(前期▲2.2→)▲6.3(前期比4.1ポイント減)となり、小幅に悪化した。人手判断DIは(前期▲13.6→)▲14.3(前期比0.7ポイント減)となり、人手不足感は横ばいに推移した。人手判断DIが最も高かったのは不動産業▲3.8となった。順に卸売業▲4.2、小売業▲6.0、製造業▲12.5、金属機械工業▲20.5、建設業▲21.0、サービス業▲22.0だった。建設業、サービス業、金属機械工業の約4社～5社に1社は人手不足と回答した。

2015年10月～12月期予想は、資金繰り判断DIは▲7.1となり、横ばいで推移する見通しとなった。人手判断DIは▲13.9となり、人手不足感も横ばいで推移する見通しとなった。

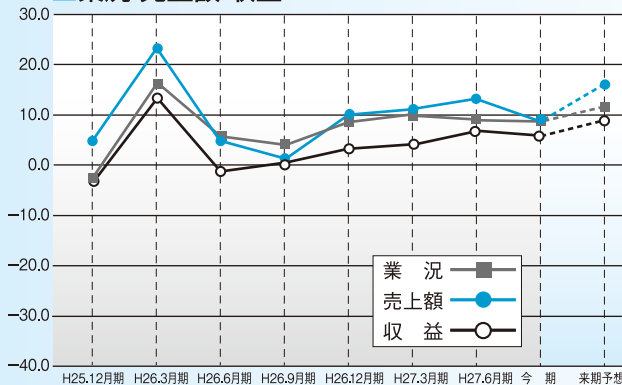
## 経営上の問題点

	1位		2位		3位		4位		5位	
製造業	同業者間の競争の激化	42.5%	売上の停滞・減少	35.5%	利幅の縮小	30.5%	原材料・料金価格高	19.5%	人手不足	14.0%
金属機械工業	同業者間の競争の激化	44.0%	売上の停滞・減少	33.0%	利幅の縮小	29.5%	人手不足	22.0%	原材料・料金価格高	15.5%
卸売業	同業者間の競争の激化	55.0%	売上の停滞・減少	36.7%	利幅の縮小	35.0%	仕入先からの値上げ要請	15.0%	為替レートの変動	15.0%
小売業	売上の停滞・減少	52.7%	同業者間の競争の激化	45.3%	大型店との競争激化	40.0%	利幅の縮小	20.0%	商店街の集客力の低下	17.3%
サービス業	同業者間の競争の激化	52.5%	売上の停滞・減少	34.0%	人手不足	23.5%	利幅の縮小	20.5%	人件費の増加	13.0%
建設業	同業者間の競争の激化	49.0%	人手不足	33.5%	利幅の縮小	30.5%	売上の停滞・減少	24.5%	原材料・材料価格の上昇	22.0%
不動産業	商品物件の不足	52.3%	同業者間の競争の激化	48.5%	利幅の縮小	36.2%	商品物件の高騰	23.1%	売上の停滞・減少	20.0%

## 当面の重点経営施策

	1位		2位		3位		4位		5位	
製造業	販路を広げる	71.0%	経費を節減	56.0%	新製品・技術を開発	25.0%	情報力を強化	24.5%	提携先を見つける・人材の確保(同率)	13.0%
金属機械工業	販路を広げる	63.5%	経費を節減	53.0%	人材確保	28.0%	情報力を強化	25.5%	新製品・技術を開発	16.5%
卸売業	販路を広げる	81.7%	経費を節減	49.2%	情報力を強化	33.3%	品揃えを充実	26.7%	提携先を見つける	15.8%
小売業	経費を節減	60.7%	品揃えを充実	40.0%	売れ筋商品を取扱う	35.3%	宣伝・広告を強化	33.3%	仕入れ先を開拓・選別	14.7%
サービス業	販路を広げる	59.0%	経費を節減	53.5%	宣伝・広告を強化	27.0%	人材確保	20.0%	提携先を見つける	18.5%
建設業	経費を節減	56.0%	販路を広げる	52.5%	人材確保	40.5%	技術力を強化	29.0%	情報力を強化	27.0%
不動産業	情報力を強化	67.7%	販路を広げる	40.0%	経費を節減	40.0%	宣伝・広告を強化	40.0%	提携先を見つける	10.8%

業況・売上額・収益



製造業 DI値の推移

	H25.12	H26.3	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	今期	来期予想
業況	-3.4	15.5	5.5	4.5	8.5	10.0	9.5	9.0	12.0
売上額	4.1	22.5	5.0	1.5	10.0	11.0	13.0	9.0	16.5
受注残	10.3	22.5	9.5	5.5	13.0	16.0	13.0	10.5	16.0
収益	-4.1	13.0	-1.0	0.5	3.5	4.0	7.0	6.0	9.5
販売価格	-7.5	0.0	1.0	2.0	1.0	2.0	2.5	1.5	1.5
原材料価格	19.9	22.0	24.4	29.0	30.0	24.5	26.0	16.0	14.5
在庫	2.8	1.5	3.0	-1.0	2.0	4.5	1.0	1.0	1.0
資金繰り	-11.0	-5.5	-4.0	-3.5	-7.0	-7.0	-2.0	-5.5	-8.5
従業員残業時間	9.6	15.0	8.9	4.5	12.5	6.5	5.0	6.0	6.5
従業員人手	-7.5	-9.5	-6.9	-9.0	-10.0	-5.5	-13.0	-12.5	-13.5
設備状況	-9.6	-7.5	-7.9	-9.0	-6.0	-9.5	-10.0	-8.0	-8.5

業況について

～2015年7月～9月期、業況は横ばい、来期もほぼ横ばいの見通し～

2015年7月～9月期、製造業の業況判断DIは(前期9.5→)9.0(前期比0.5ポイント減)となり、横ばいで推移した。自動車関連分野では今後のTPP「原産地規則」の合意の動向が注視される。

最多納入先別の業況判断DIを見ると、「大メーカー向け」は30.6(前期比18.8ポイント増)となり、かなり大幅に上昇した。これはH25年12月期(8.3)プラスに転じて以降最も高くなった。一方「小売・最終需要家向け」は0.0(前期比10.0ポイント減)と大幅に低下した。「中小メーカー向け」、「問屋・商社向け」はそれぞれ6.3、6.0ポイント前期比低下した。調査では大メーカー向けの好調さが際立った。

2015年10月～12月期予想は、業況判断DIは12.0(今期実績比3.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいで推移する見通しとなった。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	200	27	49	106	18
良い～悪い	18	1	15	2	0
DI	9.0	3.7	30.6	1.9	0.0

売上額・収益・受注残の動き

～売上額は小幅悪化、収益は横ばい、受注残はほぼ横ばい～

売上額判断DIは(前期13.0→)9.0(前期比4.0ポイント減)となり、小幅に悪化となった。収益判断DIは(前期7.0→)6.0(前期比1.0ポイント減)となり、横ばいで推移した。受注判断DIは(前期13.0→)10.5(前期比2.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。

2015年10月～12月期予想は、売上額判断DIは16.5(今期実績比7.5ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。収益判断DIは9.5(今期実績比3.5ポイント増)となり、小幅に改善の見通しとなった。また受注判断DIは16.0(今期実績比5.5ポイント増)となり、改善の見通しとなった。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は横ばい、原材料価格は大幅改善、来期はそれぞれ横ばい、ほぼ横ばいの見通し～

販売価格判断DIは(前期2.5→)1.5(前期比1.0ポイント減)となり、横ばいとなった。原材料価格判断DIは(前期26.0→)16.0(前期比10.0ポイント減)となり、大幅に改善となった。2015年10月～12月期予想は、販売価格判断DIは1.5(今期実績比増減なし)となり、横ばいの見通しとなった。

原材料価格判断DIは14.5(今期実績比1.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。

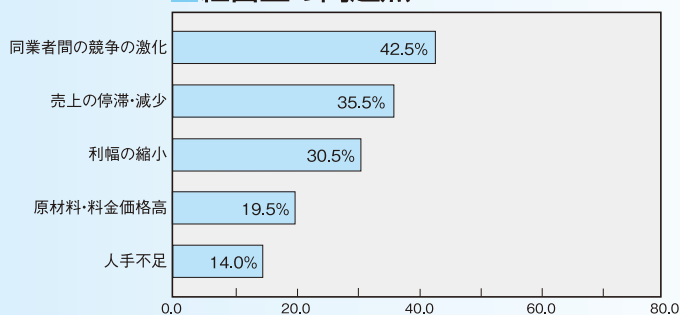
資金繰り・雇用面の動き

～資金繰りは小幅悪化、人手不足感は横ばい～

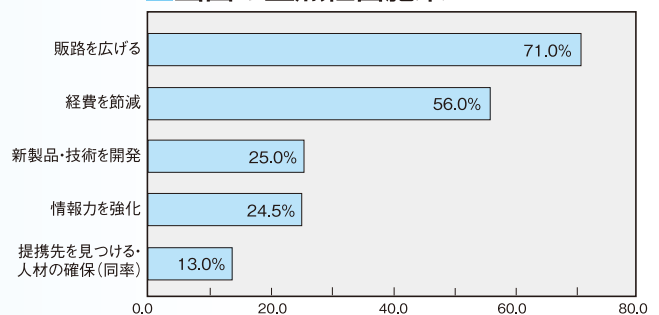
資金繰り判断DIは(前期▲2.0→)▲5.5(前期比3.5ポイント減)となり、小幅に悪化した。人手判断DIは(前期▲13.0→)▲12.5(前期比0.5ポイント増)となり、人手不足感は横ばいで推移となった。

人手判断の内訳は、人手過剰とした企業が(前期1.0%→)1.0%、適正とした企業が(前期85.0%→)85.5%、不足とした企業が(前期14.0%→)13.5%。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

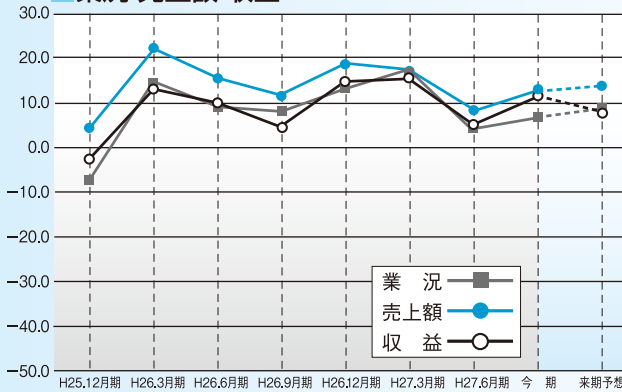


企業のコメント



- ・スーパー向けの受注増と取引先開拓が成功し、売上高は前年対比大幅アップとなった。(プラスチック製品製造業)
- ・経営改善、社内改革を推し進めた結果、過去最高の売上を記録している。(洋菓子製造業)
- ・コスト削減効果と売上増から増収増益である。更に新たな市場参入を目指している。(変圧器製造業)
- ・新分野への取組で販路は広がり利益は前期並み確保した。今後は大学等との共同開発の成果が売上に貢献すると期待している。(その他製造業)
- ・円安による仕入コスト増で一部不採算商品を販売中止した影響から売上は減少した。(その他製造業)
- ・売上は前年対比1割程度落ち込んでいる。(ゴム製品製造業)

業況・売上額・収益



金属機械工業 DI値の推移

	H25.12	H26.3	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	今期	来期予想
業況	-7.7	14.5	9.5	8.0	13.0	17.5	4.0	7.0	9.0
売上額	5.1	21.9	15.6	11.5	18.5	17.5	8.0	13.5	14.0
受注残	0.0	22.9	11.0	13.5	16.0	20.5	8.0	17.5	18.5
収益	-2.5	13.2	10.0	4.0	15.0	15.5	5.0	11.5	8.5
販売価格	0.0	0.5	1.5	1.0	-0.5	2.0	0.5	1.5	-0.5
原材料価格	23.7	17.8	19.1	21.0	19.0	22.5	21.5	12.0	8.0
在庫	3.4	3.1	-1.5	-1.5	0.0	3.5	0.5	-1.5	-0.5
資金繰り	-17.8	-1.6	-1.5	-3.5	-0.5	-4.0	2.5	-2.0	1.0
従業員残業時間	6.8	15.2	11.6	10.5	9.0	21.0	9.5	15.0	15.5
従業員人手	-17.8	-10.2	-12.1	-13.0	-18.0	-20.5	-17.5	-20.5	-18.5
設備状況	-9.4	-7.1	-9.1	-11.5	-11.5	-14.5	-8.5	-10.5	-10.5

業況について

～2015年7月～9月期、業況はほぼ横ばい、来期もほぼ横ばい、全体では上げ基調の見通し～

2015年7月～9月期、金属機械工業の業況判断DIは(前期4.0→)7.0(前期比3.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいとなった。前回調査時の今期見通し(5.5ポイント増)を下回った。

最多納入先別業況判断DIを見ると、「中小メーカー向け」が改善、「問屋・商社向け」は依然低調となった。最も高かったのは「大メーカー向け」14.9(前期比2.6ポイント減)、順に「中小メーカー」6.4(前期比5.5ポイント増)、「小売・最終需要家向け」は変化なし、「問屋・商社向け」▲18.8(前期比1.2ポイント増)だった。

2015年10月～12月期予想は、業況判断DIは9.0(今期実績比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	200	16	67	110	7
良い～悪い	14	-3	10	7	0
DI	7.0	-18.8	14.9	6.4	0.0

売上額・収益・受注の動き

～売上額、収益、受注とも改善、来期はいずれも横ばい・ほぼ横ばいの見通し～

売上額判断DIは(前期8.0→)13.5(前期比5.5ポイント増)となり、改善した。収益判断DIは(前期5.0→)11.5(前期比6.5ポイント増)となり、改善となった。受注判断DIは(前期8.0→)17.5(前期比9.5ポイント増)となり、改善となった。

2015年10月～12月期予想は、売上額判断DIは14.0(今期実績比0.5ポイント増)となり、横ばいの見通しとなった。収益判断DIは8.5(今期実績比3.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。受注判断DIは18.5(今期実績比1.0ポイント増)となり、横ばいの見通しとなった。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は横ばい、原材料価格は改善、来期の原材料価格は2期連続で改善の見通し～

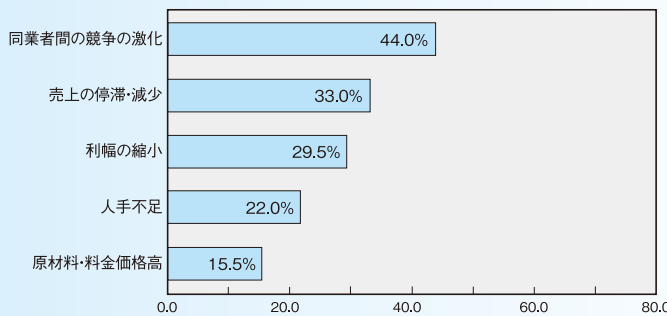
販売価格判断DIは(前期0.5→)1.5(前期比1.0ポイント増)となり、横ばいとなった。原材料価格判断DIは(前期21.5→)12.0(前期比9.5ポイント減)となり、改善となった。2015年10月～12月期予想は、販売価格判断DIは▲0.5(今期実績比2.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。原材料価格DIが8.0(今期実績比4.0ポイント減)となり、小幅に改善し2期連続で改善する見通しとなった。

資金繰り・雇用面の動き

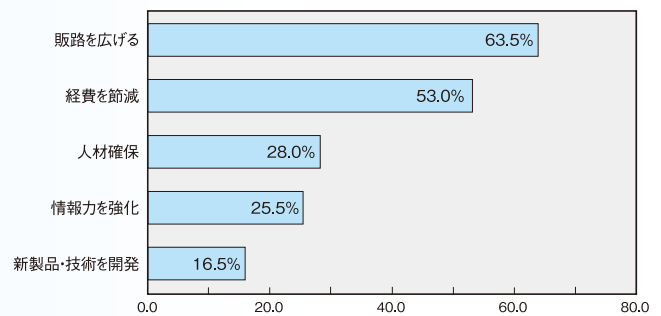
～資金繰りは小幅悪化、人手不足感はほぼ横ばいで～

資金繰り判断DIは(前期2.5→)▲2.0(前期比4.5ポイント減)となり、小幅に悪化となった。人手判断DIは(前期▲17.5→)▲20.5(前期比3.0ポイント減)となり、不足感はほぼ横ばいで推移となった。ただ不足感はサービス業、建設業に次いで強い。人手判断DIの内訳は、人手過剰とした企業が(前期1.5%→)1.5%、適正とした企業が(前期79.5%→)76.5%、不足とした企業が(前期19.0%→)22.0%となった。

経営上の問題点



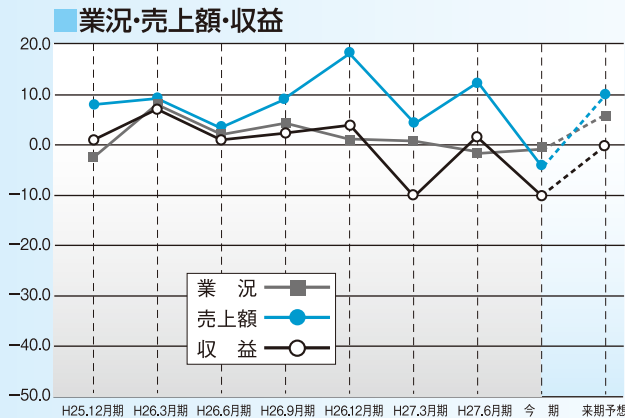
当面の重点経営施策



企業のコメント



- ・売上、受注とも増加している一方、人手不足から残業時間はやや増加している。(金属切断・溶接業)
- ・大手食品メーカーからの受注が好調である。(食品加工機械製造業)
- ・売上、受注、収益とも良好に推移している。特に地方からの受注が増加している。(建設用・建築用基礎機械製造業)
- ・売上、利益とも横ばいである。同業者間の競争激化は更に強まり懸念している。(一般機械器具製造業)
- ・自動車関連分野の落込みが影響し売上、利益とも減少している。(金属製品製造業)
- ・売上、受注、収益とも減少したが、今後はわずかに回復すると予想している。(自動車部品製造業)



### 卸売業 DI値の推移

	H25.12月期	H26.3月期	H26.6月期	H26.9月期	H26.12月期	H27.3月期	H27.6月期	今期	来期予想
業況	-2.3	8.3	3.3	4.2	1.6	0.8	-1.6	-0.8	6.6
売上額	8.1	9.0	4.0	9.2	18.3	4.2	12.5	-4.2	10.0
収益	1.1	8.1	1.6	2.5	4.1	-10.0	1.7	-10.0	0.0
販売価格	2.3	4.0	11.3	11.6	14.2	5.9	10.0	0.0	7.5
仕入価格	19.5	17.7	22.8	19.1	26.6	22.5	23.3	18.4	21.6
在庫	4.6	2.5	0.0	4.2	5.0	4.1	3.3	2.5	1.6
資金繰り	-5.8	-4.8	0.0	1.7	-1.7	-7.5	0.0	-5.0	-6.7
従業員残業時間	1.2	0.8	2.4	0.9	0.8	1.6	2.5	5.0	4.1
従業員人手	-11.6	-8.1	-9.8	-7.5	-7.5	-5.0	-1.7	-4.2	-5.0
設備状況	-6.9	-4.1	-0.8	-0.9	-2.5	-2.5	0.0	0.0	0.0

### 業況について

～2015年7月～9月期、業況は横ばい、来期は改善の見通し～

2015年7月～9月期、卸売業の業況判断DIは(前期▲1.6→)▲0.8(前期比0.8ポイント増)となり、横ばいとなった。最多納入先別に業況判断DIをみると、「小売業者向け」が大幅に改善した。最も高かったのは「大メーカー向け」7.7(前期比4.8ポイント減)、順に「小売業者向け」4.8(前期比11.9ポイント増)、「問屋・商社向け」▲4.3(前期比0.6ポイント減)、「中小メーカー向け」▲7.1(前期比7.1ポイント減)だった。

2015年10月～12月期予想は、業況判断DIは6.6(今期実績比7.4ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売業者
全体	120	23	13	42	42
良い～悪い	-1	-1	1	-3	2
DI	-0.8	-4.3	7.7	-7.1	4.8

### 売上額・収益の動き

～売上額はかなり大幅悪化、収益は大幅悪化した、来期はいずれも大幅に改善の見通し～

売上額判断DIは(前期12.5→)▲4.2(前期比16.7ポイント減)となり、かなり大幅に悪化となった。収益判断DIは(前期1.7→)▲10.0(前期比11.7ポイント減)となり、大幅に悪化となった。

2015年10月～12月期予想は、売上額判断DIは10.0(今期実績比14.2ポイント増)となり、大幅に改善するとの見通しとなった。収益判断DIは0.0(今期実績比10.0ポイント増)となり、大幅に改善するとの見通しとなった。

### 販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は大幅悪化、仕入価格は小幅改善、来期の販売価格は改善、仕入価格は小幅悪化～

販売価格判断DIは(前期10.0→)0.0(前期比10.0ポイント減)となり、大幅に悪化となった。仕入価格判断DIは(前期23.3→)18.4(前期比4.9ポイント減)となり、小幅に改善となった。

2015年10月～12月期予想は、販売価格DIは7.5(今期実績比7.5ポイント増)となり、改善する見通しとなった。仕入価格判断DIは21.6(今期実績比3.2ポイント増)となり、小幅に悪化の見通しとなった。

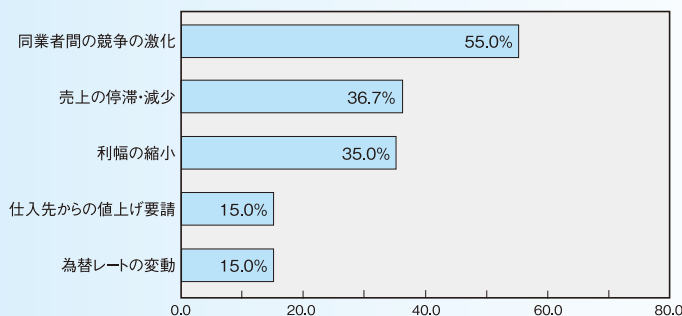
### 在庫・資金繰り・雇用面の動き

～在庫は横ばい、資金繰りは小幅悪化、人手は横ばい圏で推移～

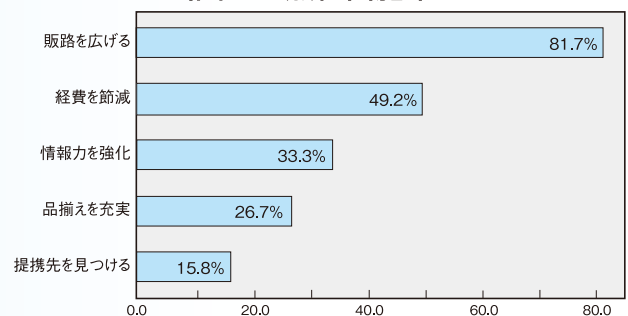
在庫判断DIは(前期3.3→)2.5(前期比0.8ポイント減)となり、横ばいで推移となった。資金繰り判断DIは(前期0.0→)▲5.0(前期比5.0ポイント減)となり、小幅に悪化した。

人手判断DIは(前期▲1.7→)▲4.2(前期比2.5ポイント減)となり、人手不足感はほぼ横ばいで推移となった。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業が(前期2.5%→)3.3%、適正とした企業が(前期93.3%→)89.2%、不足とした企業が(前期4.2%→)7.5%となった。

### 経営上の問題点



### 当面の重点経営施策



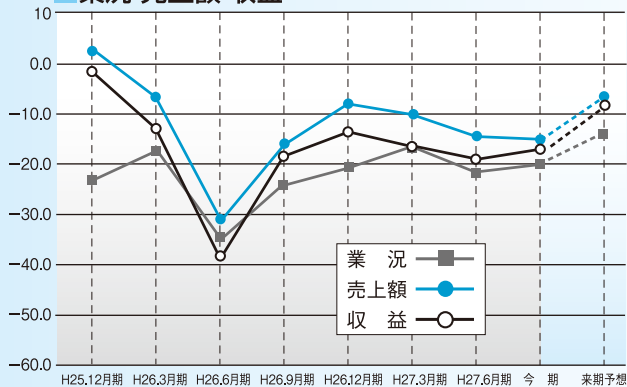
### 企業のコメント



- ・ 好調な輸出に支えられ売上は増加した一方、利益は縮小している。(石油二次製品卸売業)
- ・ 海外の生産ラインネットワークの強みを生かし、特にOEMを中心に売上は増加している。(スポーツ用品卸売業)
- ・ 当面の受注は確保している。今後は百貨店への出店が売上増につながると期待している。(青果卸売業)
- ・ この夏は天候の変化が激しく時季にあった品揃えが難しく出遅れた。秋、冬物の消費者動向に注視している。(衣服・身のまわり品卸売業)
- ・ 公共事業関連以外は受注が減少し売上は減少した。また仕入価格は上昇し収益も減少している。(建築材料卸売業)
- ・ 価格競争の激化から収益確保は難しくなっている。(靴卸売業)



業況・売上額・収益



小売業 DI値の推移

	H25.12	H26.3	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	今期	来期予想
業況	-23.4	-17.3	-34.7	-24.6	-20.7	-16.7	-21.3	-20.0	-13.3
売上額	3.1	-6.0	-31.3	-16.7	-8.0	-10.0	-14.0	-14.6	-6.7
収益	-1.0	-12.6	-38.8	-18.0	-13.3	-16.6	-18.7	-17.3	-8.0
販売価格	7.1	2.6	11.3	8.7	2.7	0.7	0.0	-4.0	1.4
仕入価格	29.6	19.4	29.2	22.0	14.0	16.0	18.0	14.7	12.6
在庫	6.2	2.7	1.3	0.7	-1.3	-1.3	-0.7	-0.6	-0.7
資金繰り	-18.4	-19.3	-19.7	-12.0	-14.0	-15.4	-16.0	-19.3	-16.7
従業員残業時間	4.1	4.6	-0.7	1.3	0.0	0.0	2.7	2.0	4.7
従業員人手	-11.3	-5.4	-5.5	-6.0	-5.3	-8.0	-6.0	-6.0	-4.6
設備状況	-5.1	-4.6	-2.7	-3.3	-2.7	-4.7	-5.3	-4.6	-4.7

業況について

～2015年7月～9月期、業況はほぼ横ばい、来期は改善の見通し～

2015年7月～9月期、小売業の業況判断DIは(前期▲21.3→)▲20.0(前期比1.3ポイント増)となり、ほぼ横ばいで推移となった。ただ小売業の業況判断DIは依然きびしい数値圏にある。

店舗立地地域別に業況判断DIをみると、最も業況判断DIが高かったのは「その他」▲7.1(前期比6.7ポイント増)、次いで「住宅地隣接商店街」▲24.3(前期比7.3ポイント増)、「駅周辺商店街」▲29.8(前期比7.6ポイント減)となった。

2015年10月～12月期予想は、業況判断DIは▲13.3(今期実績比6.7ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。訪日外客数(9月発表1月～8月1280万人)の増加、大手企業中心のベースアップなど消費へのプラス要因が今後、中小の小売業にどの程度プラスに働くか更に注視される。

◎店の立地地域別業況について(当期)

	合計	駅周辺商店街	住宅地隣接商店街	その他
全体	150	57	37	56
良い～悪い	-30	-17	-9	-4
DI	-20.0	-29.8	-24.3	-7.1

売上額・収益の動き

～売上額は横ばい、収益はほぼ横ばい、来期はいずれも改善の見通し～

売上額判断DIは(前期▲14.0→)▲14.6(前期比0.6ポイント減)となり、横ばいとなった。収益判断DIは(前期▲18.7→)▲17.3(前期比1.4ポイント増)となり、ほぼ横ばいとなった。2015年10月～12月期予想は、売上額判断DIは▲6.7(今期実績比7.9ポイント増)となり、改善する見通しとなった。

前年同時期に来期予想をしたときは、売上額判断DIは▲8.7(実績▲8.0)(9月期比8.7ポイント増)であったが、今回もほぼ昨年と同程度の予想となった。

収益判断DIは▲8.0(今期実績9.3ポイント増)となり、改善する見通しとなった。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は小幅悪化、仕入価格は小幅改善、来期の販売価格は改善の見通し～

販売価格判断DIは(前期0.0→)▲4.0(前期比4.0ポイント減)となり、小幅に悪化となった。仕入価格判断DIは(前期18.0→)14.7(前期比3.3ポイント減)となり、小幅に改善となった。2015年10月～12月期予想は、販売価格判断DIは1.4(今期実績比5.4ポイント増)となり、改善する見通しとなった。

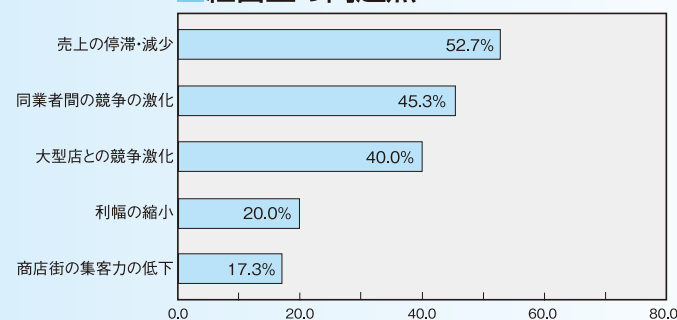
仕入価格判断DIは12.6(今期実績2.1ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移する見通しとなった。

資金繰り・雇用面の動き

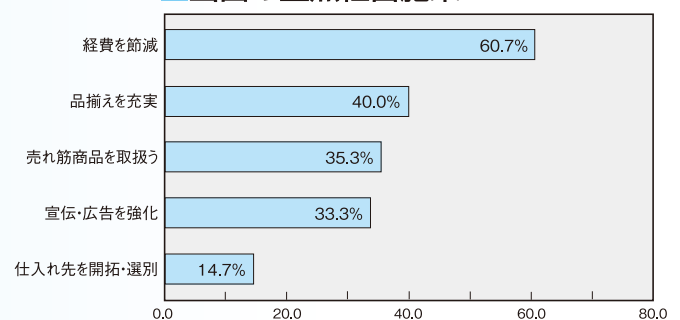
～資金繰りは小幅に悪化、人手は横ばい、来期の資金繰り、人手ともほぼ横ばいの見通し～

資金繰り判断DIは(前期▲16.0→)▲19.3(前期比3.3ポイント減)となり、小幅に悪化となった。資金繰り判断DIは対象7業種の中で最も悪い。人手判断DIは(前期▲6.0→)▲6.0(前期比増減なし)となり、横ばいで推移となった。2015年10月～12月期予想は、資金繰り判断DIは▲16.7(今期実績比2.6ポイント増)となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。人手判断DIは▲4.6(今期実績1.4ポイント増)となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業が(前期1.3%→)2.7%、適正とした企業が(前期91.4%→)88.6%、人手不足とした企業が(前期7.3%→)8.7%となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

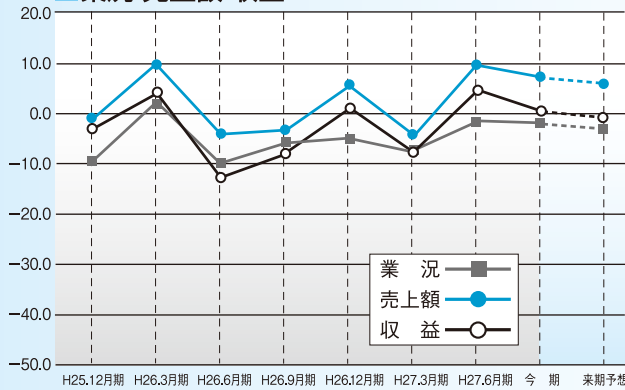


企業のコメント



- ・商業集積地、商業施設に店舗配置をしており、来店客数は好調で売上は順調に推移している。(飲食店)
- ・売上はやや増加し業況もよい。売れ筋商品の品揃えと取引先へのPRを更に強化していく。(書籍・文具小売業)
- ・固定客の来店頻度は減少している。ただ今後は大手企業の業績回復が利用増につながると見込んでいる。(飲食店)
- ・消費者ニーズにあった品揃えと、他店との差別化で業況は安定している。(医薬品・化粧品小売業)
- ・近隣大型店の影響は厳しい状況だが、きめ細かなサービスで差別化を展開している。(飲食料点小売業)
- ・原材料費等の高騰から利益は減少している。(菓子製造業)

業況・売上・収益



サービス業 DI値の推移

	H25.12	H26.3	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	今期	来期予想
業況	-10.0	2.5	-10.0	-5.5	-4.0	-7.0	-1.5	-2.0	-2.5
売上額	-0.8	10.0	-3.5	-3.0	5.5	-4.0	10.0	7.5	6.5
収益	-3.1	3.0	-12.5	-8.0	1.0	-7.5	5.0	0.0	-0.5
料金価格	-1.5	6.5	7.0	8.5	4.0	1.0	5.0	6.5	3.5
材料価格	16.4	19.1	22.5	26.5	18.0	7.5	14.0	12.0	7.5
資金繰り	-6.3	0.0	-10.5	-11.5	-8.5	-10.0	-5.0	-9.5	-14.0
従業員残業時間	-2.3	10.5	6.0	5.5	10.5	6.5	6.0	8.5	8.0
従業員人手	-14.0	-14.5	-10.0	-14.0	-18.5	-19.0	-22.5	-22.0	-19.0
設備状況	-10.0	-9.6	-7.5	-8.0	-7.0	-10.5	-9.0	-10.0	-10.5

業況について

～2015年7月～9月期、業況は横ばい、来期も横ばいの見通し～

2015年7月～9月期、サービス業の業況判断DIは(前期▲1.5→)▲2.0(前期比0.5ポイント減)となり、横ばいとなった。  
2015年10月～12月期予想は、業況判断DIは▲2.5(今期実績比0.5ポイント減)となり、横ばいの見通しとなった。

売上額・収益の動き

～売上額はほぼ横ばい、収益は悪化、来期は売上額、収益とも横ばいの見通し～

売上額判断DIは(前期10.0→)7.5(前期比2.5ポイント減)となり、ほぼ横ばい圏で推移した。収益判断DIは(前期5.0→)0.0(前期比5.0ポイント減)となり、悪化となった。  
2015年10月～12月期予想は、売上額判断DIは6.5(今期実績比1.0ポイント減)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。収益判断DIは▲0.5(今期実績比0.5ポイント減)となり、横ばいとの見通しとなった。

料金価格・材料価格の動き

～料金価格、材料価格ともほぼ横ばい、来期はそれぞれ、ほぼ横ばい、小幅改善の見通し～

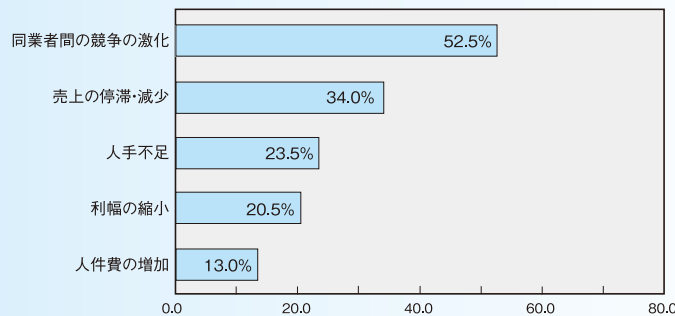
料金価格判断DIは(前期5.0→)6.5(前期比1.5ポイント増)となり、ほぼ横ばいとなった。材料価格判断DIは(前期14.0→)12.0(前期比2.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移となった。  
2015年10月～12月期予想は、料金価格判断DIは3.5(今期実績比3.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいとの見通しとなった。材料価格判断DIは7.5(今期実績比4.5ポイント減)となり、小幅に改善の見通しとなった。

資金繰り・雇用面の動き

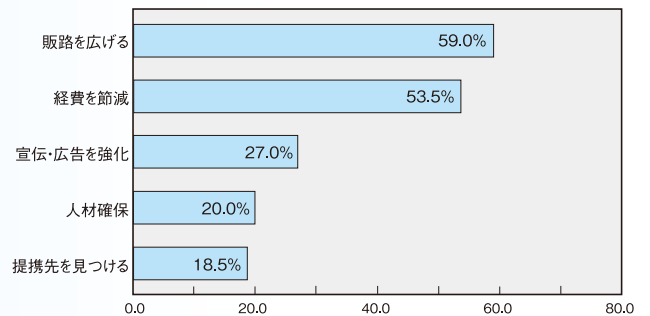
～資金繰りは小幅に悪化、人手不足感は横ばいで推移～

資金繰り判断DIは(前期▲5.0→)▲9.5(前期比4.5ポイント減)となり、小幅に悪化となった。人手判断DIは(前期▲22.5→)▲22.0(前期比0.5ポイント増)となり、人手不足感は横ばいで推移となった。人手判断DIは対象7業種中では最も低い。  
人手判断の内訳は、人手過剰とした企業が(前期1.0%→)1.0%、適正とした企業が(前期75.5%→)76.0%、人手不足とした企業が(前期23.5%→)23.0%となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

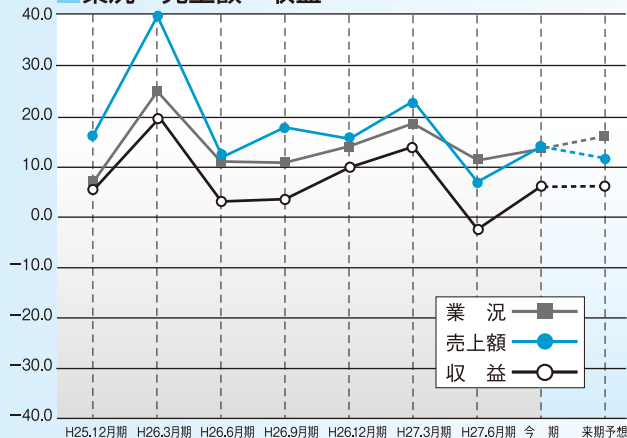


企業のコメント



- ・外国人旅行者、学生等の利用増で売上、収益は増加している。(旅館、その他の宿泊所)
- ・外国人労働者の派遣が増えており業況は良い。ただ需要は強いが要請に応えられる人材は不足している。(人材派遣業)
- ・固定客、大口顧客から安定した売上確保ができ、利益も安定している。(クリーニング業)
- ・人手不足は解消していない。(介護事業)
- ・原油価格の低水準が利益率の改善につながっている。(運送業)
- ・人手不足は続いており、アルバイトで対応している。(娯楽業)

業況・売上額・収益



建設業 DI値の推移

	H25.12	H26.3	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	今期	来期予想
業況	7.5	25.0	11.0	10.5	14.5	19.0	11.5	14.0	16.0
売上額	16.6	40.0	11.9	18.5	15.5	23.0	7.0	14.5	12.0
受注残	17.4	40.5	13.9	16.0	19.5	25.5	11.0	19.0	13.0
施工高	23.2	34.5	10.5	16.0	16.5	15.5	8.5	14.0	12.0
収益	5.8	20.0	3.0	3.5	10.0	14.5	-2.5	6.5	6.5
請負価格	-4.9	7.6	5.5	6.5	7.0	9.5	0.5	0.0	2.0
原材料・仕入価格	19.1	24.6	26.4	33.0	32.5	28.5	26.0	16.0	16.5
在庫	0.0	-3.5	-2.0	-3.0	-1.0	0.5	-0.5	0.5	0.5
資金繰り	-8.2	-12.5	-9.9	-9.0	-7.0	-10.5	0.0	-4.5	-4.5
従業員残業時間	14.1	21.0	4.5	11.0	9.0	10.5	4.0	5.5	6.0
従業員人手	-23.2	-29.0	-23.9	-22.0	-23.5	-26.5	-20.5	-21.0	-23.0
設備状況	-5.0	-3.0	-4.5	-3.5	-6.0	-6.0	-3.5	-2.5	-4.0

業況について

～2015年7月～9月期、業況は横ばい、来期もほぼ横ばいの見通し～

2015年7月～9月期、建設業の業況判断DIは(前期11.5→)14.0(前期比2.5ポイント増)となり、ほぼ横ばい圏で推移した。業況判断DIは対象7業種の中で最も高かった。最多請負先別に業況判断DIを見ると「官公庁向け」が4期連続で好調、「大企業向け」も改善が見られる。一方「個人向け」は改善が見られない。業況判断DIが最も高かったのは、「官公庁向け」40.0(前期比増減なし)、次いで「大企業向け」21.4(前期比5.3ポイント増)、「中小企業向け」4.4(前期比2.1ポイント増)、「個人向け」▲10.5(前期比1.0ポイント減)だった。

2015年10月～12月期予想は、業況判断DIは16.0(今期実績比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいとの見通しとなった。

◎最多請負先別の業況について(当期)

	合計	官公庁	大企業	中小企業	個人
全体	200	35	56	90	19
良い～悪い	28	14	12	4	-2
DI	14.0	40.0	21.4	4.4	-10.5

売上額・収益・受注残の動き

～売上額、収益、受注とも改善、来期の売上額、収益は横ばい、受注残は悪化の見通し～

売上額判断DIは(前期7.0→)14.5(前期比7.5ポイント増)となり、改善となった。

収益判断DIは(前期▲2.5→)6.5(前期比9.0ポイント増)となり、改善した。受注判断DIは(前期11.0→)19.0(前期比8.0ポイント増)となり、改善した。

2015年10月～12月期予想は、売上額判断DIは12.0(今期実績比2.5ポイント減)となり、ほぼ横ばい圏で推移するとの見通しとなった。収益判断DIは6.5(今期実績比増減なし)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。受注残判断DIは13.0(今期実績比6.0ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなった。

請負価格・原材料価格の動き

～請負価格は横ばい、原材料価格は大幅改善、来期は横ばいの見通し～

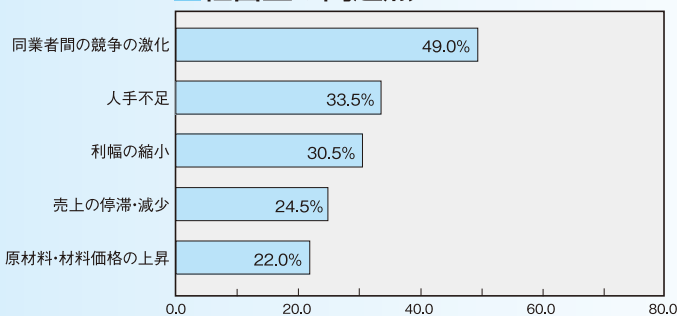
請負価格判断DIは(前期0.5→)0.0(前期比0.5ポイント減)となり、横ばいとなった。原材料価格判断DIは(26.0→)16.0(前期比10.0ポイント減)となり、大幅に改善となった。原材料価格判断DIは2年前のH25年9月期(15.7)水準程度に回復した。ただ今後は五輪需要、自然災害復興需要、公共工事等が原材料価格にどの程度影響するか動向が注視される。2015年10月～12月期予想は、請負価格判断DIは2.0(今期実績比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいで推移するとの見通しとなった。原材料価格は16.5(今期実績比0.5ポイント増)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

在庫・資金繰り・雇用の動き

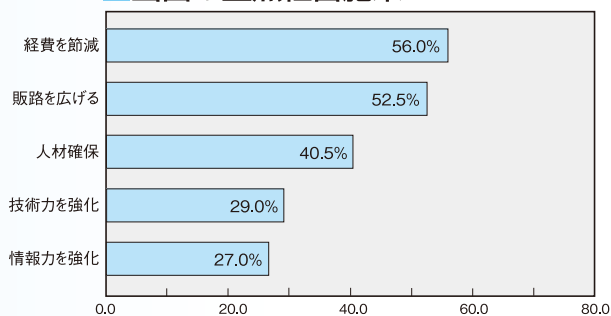
～在庫は横ばい、資金繰りは小幅改善、人手不足感は横ばい、来期はいずれも横ばいの見通し～

在庫判断DIは(前期▲0.5→)0.5(前期比1.0ポイント増)となり、横ばい圏で推移した。資金繰り判断DIは(前期0.0→)▲4.5(前期比4.5ポイント減)となり、小幅に悪化となった。人手判断DIは(前期▲20.5→)▲21.0(前期比0.5ポイント減)となり、人手不足感は横ばいで推移となった。ただ4社に1社は不足としていた。2015年10月～12月期予想は、在庫判断DIは0.5(今期実績比増減なし)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。人手判断DIは▲23.0(今期実績比2.0ポイント減)となり、ほぼ横ばい圏で推移する見通しとなった。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業が(前期2.0%→)4.0%、適正とした企業が(前期75.5%→)71.0%、人手不足とした企業が(前期22.5%→)25.0%となった。

経営上の問題点

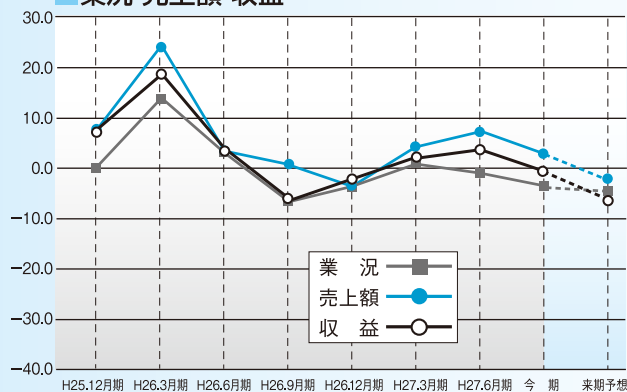


当面の重点経営施策



- ・官公庁の受注が多い。施工高、収益とも増加している。(地質調査業)
- ・学校、公共施設等の補修工事の受注確保で売上は安定している。(総合建設業)
- ・大手からの受注はやや増加している。ただ利益は若干減少している。(乾式止水材設置工事業)
- ・大手取引先からの受注は継続しており、当面はこの状況は続くと見ている。(土木建築工事業)
- ・人材不足は解消しておらず、受注量を調整している。(内装工事業)
- ・大型受注が減少し施行高、受注、収益ともに減少した。(とび土木業)

業況・売上額・収益



不動産業 DI値の推移

	H25.12	H26.3	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	今期	来期予想
業況	0.0	13.8	3.8	-6.1	-3.8	0.7	-0.8	-3.8	-3.9
売上額	8.0	24.6	3.9	0.8	-3.8	4.6	7.6	3.1	-2.3
収益	8.0	19.2	4.6	-6.1	-2.3	1.6	4.6	-0.8	-6.2
販売価格	4.0	5.3	2.3	1.6	-2.3	-1.6	6.2	-2.3	-3.9
仕入価格	31.6	30.3	28.4	22.4	24.6	21.6	28.5	20.0	16.2
在庫	-17.2	-11.5	-13.0	-14.6	-20.7	-15.3	-16.2	-20.0	-23.1
資金繰り	0.0	3.0	3.1	-1.5	0.0	3.1	4.6	1.5	0.0
従業員残業時間	1.0	2.4	-0.8	0.8	-1.5	-3.0	-1.6	-2.3	-3.8
従業員人手	-4.1	-6.9	-4.6	-3.1	-3.8	-0.7	-3.8	-3.8	-3.8

業況について

～2015年7月～9月期、業況はほぼ横ばい、来期は横ばいの見通し～

2015年7月～9月期、不動産業の業況判断DIは(前期▲0.8→)▲3.8(前期比3.0ポイント減)となり、ほぼ横ばい圏での推移となった。業種内容別に業況判断DIをみると、「賃貸」が小幅改善、「建売」が悪化となった。最も業況判断DIが高かったのは「賃貸」17.6(前期比4.3ポイント増)、次いで「仲介管理」▲2.4(前期比2.4ポイント減)、「建売」▲9.7(前期比5.4ポイント減)となった。特に「賃貸」は今年3月期以降上昇傾向が見られる。

2015年10月～12月期(来期)の予想は業況判断DIが▲3.9(今期実績比0.1ポイント減)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

◎業種内容別業況について(当期)

	全体	賃貸	建売	仲介管理
全体	130	17	72	41
良い-悪い	-5	3	-7	-1
DI	-3.8	17.6	-9.7	-2.4

売上額・収益の動き

～売上額は小幅悪化、収益は悪化、来期は売上額、収益とも悪化の見通し～

売上額判断DIは(前期7.6→)3.1(前期比4.5ポイント減)となり、想定内の小幅な悪化に留まった。収益判断DIは(前期4.6→)▲0.8(前期比5.4ポイント減)となり、ほぼ想定内の悪化となった。2015年10月～12月予想は、売上額判断DIは▲2.3(今期実績比5.4ポイント減)となり、引き続き悪化するとの見通しとなった。収益判断DIは▲6.2(今期実績比5.4ポイント減)となり、2期連続で悪化する見通しとなった。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は悪化、仕入価格は改善、来期は販売価格は横ばい、仕入価格は小幅改善の見通し～

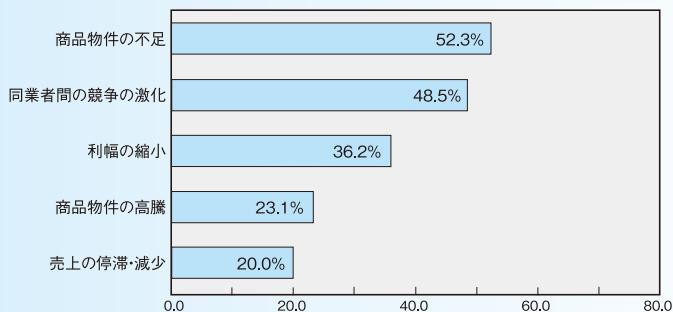
販売価格判断DIは(前期6.2→)▲2.3(前期比8.5ポイント減)となり、想定を超える悪化となった。仕入価格判断DIは(前期28.5→)20.0(前期比8.5ポイント減)となり、改善となった。2015年10月～12月予想は、販売価格判断DIは▲3.9(今期実績比1.6ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移するとの見通しとなった。仕入価格判断DIは16.2(今期実績比3.8ポイント減)となり、小幅に改善するとの見通しとなった。

在庫・資金繰り・雇用面の動き

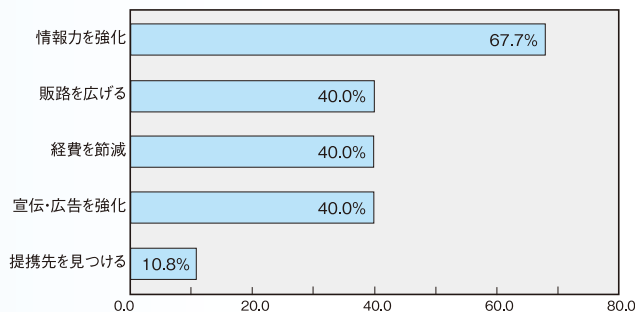
～在庫、資金繰りとも小幅悪化、人手不足感は横ばい、来期の在庫は引き続き小幅悪化の見通し～

在庫判断DIは(前期▲16.2→)▲20.0(前期比3.8ポイント減)となり、小幅に悪化となった。資金繰り判断DIは(前期4.6→)1.5(前期比3.1ポイント減)となり、小幅に悪化となった。従業員人手判断DIは(前期▲3.8→)▲3.8(前期比増減なし)となり、横ばいとなった。2015年10月～12月期予想は、在庫判断DIは▲23.1(今期実績比3.1ポイント減)となり、小幅に悪化するとの見通しとなった。資金繰り判断DIは0.0(今期実績比1.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移する見通しとなった。従業員人手判断DIは3.8(今期実績比増減なし)となり、横ばいで推移する見通しとなった。従業員人手判断の内訳は、人手過剰とした企業が(前期0.8%→)0.0%、適正とした企業が(前期94.6%→)96.2%、人手不足とした企業が(前期4.6%→)3.8%となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策



企業のコメント



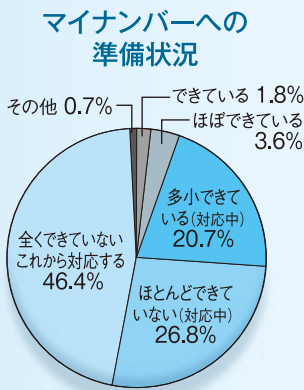
- ・売上は増加傾向にある。ただ仕入価格が上昇し収益環境は厳しい。(不動産売買・仲介業)
- ・テナントの入居が100%となり業況は良くなっている。(不動産賃貸業)
- ・豊中市内では物件も少なく仕入が難しく、箕面市周辺までエリアを広げている。(不動産売買業)
- ・大手ハウスメーカー等からの引き合いが強まっており今後、状況は良くなる見通しをしている。(土地売買業)
- ・相談件数は減少しており、業況はやや悪い。(不動産仲介業)
- ・土地の仕入は難しくなっており、在庫は不足している。(建売業)

北おおさかしんきん景気動向特別調査として、今回は「マイナンバー制度」対応の準備と題してアンケート調査を行いました。調査期間は平成27年9月1日～9月7日。調査対象は北大阪を中心とする地元企業1200社で、有効回答率100%。

### 問1.マイナンバー制度の導入への準備はできていますか？

マイナンバー制度への対応状況を企業に聞いたところ、「できている」(できている、ほぼできている)との回答が5.4%と厳しい実態が明らかになった。「多少できている」も20.7%にとどまり、「できていない」(ほとんどできていない、全くできていない)とした企業は73.2%に上った。「その他」0.7%だった。

#### 制度の導入への準備はできていますか(業種別)



業種別では、「できている」(できている、ほぼできている)で最も高かったのは「卸売業」7.5%、最も低かったのは「小売業」3.3%だった。

回答	業種	全体	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
できている		1.8%	3.0%	1.0%	1.7%	2.0%	1.5%	2.5%	0.8%
ほぼできている		3.6%	3.5%	3.5%	5.8%	1.3%	3.5%	3.5%	4.6%
多少できている(対応中)		20.7%	21.5%	18.5%	24.2%	13.3%	25.5%	20.0%	21.5%
ほとんどできていない(対応中)		26.8%	32.0%	29.0%	21.7%	27.3%	23.5%	29.0%	21.5%
全くできていない、これから対応する		46.4%	39.5%	48.0%	46.7%	55.3%	45.0%	43.0%	51.5%
その他		0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.7%	1.0%	2.0%	0.0%

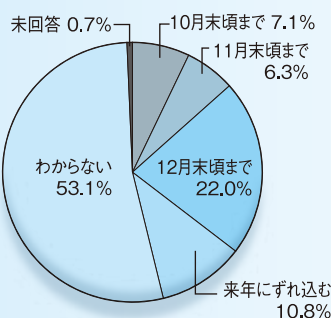
#### (従業員数規模別)

従業員数規模別では、「できている」(できている、ほぼできている)との回答が最も高かったのは「100名以上」が22.9%、最も低かったのは「4名以下」で2.6%。従業員数規模の小さい企業ほど対応が遅れている傾向が鮮明になった。

回答	従業員数	全体	4名以下	5～9名	10～19名	20～29名	30～49名	50～99名	100名以上
できている		1.8%	0.5%	1.4%	1.6%	2.9%	3.8%	0.0%	12.5%
ほぼできている		3.6%	2.1%	2.1%	3.1%	4.9%	11.4%	3.8%	10.4%
多少できている(対応中)		20.7%	9.6%	15.7%	23.4%	33.3%	40.5%	37.7%	43.8%
ほとんどできていない(対応中)		26.8%	24.8%	30.3%	27.7%	27.5%	22.8%	26.4%	22.9%
全くできていない、これから対応する		46.4%	62.1%	49.5%	43.8%	30.4%	21.5%	32.1%	10.4%
その他		0.7%	0.8%	1.0%	0.4%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 制度導入への準備はいつ頃までにできますか(問1で「できている」回答以外の企業から回答)

##### 準備はいつ頃までにできますか？

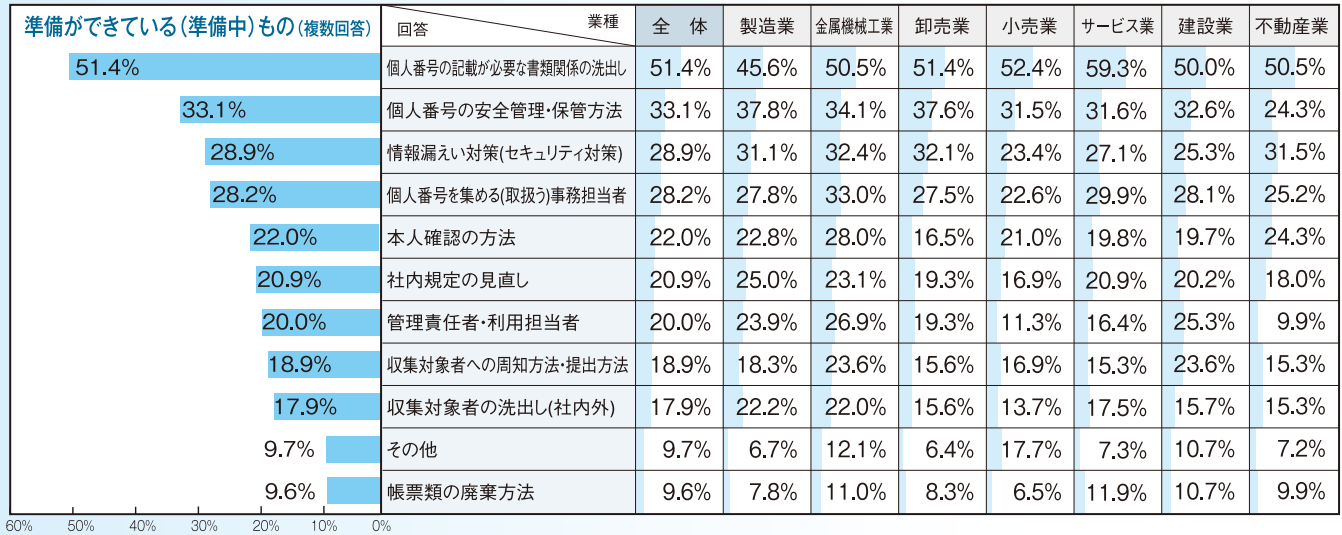


対応が「できている」と回答した企業1.8%を除く企業に対応の準備はいつ頃までにできるか聞いたところ、年内に対応できるとの回答は35.4%で、「来年にずれ込む」が10.8%。「わからない」が53.1%と半数強を占め、企業の対応に戸惑いがあることがうかがえた。

回答	業種	全体	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
10月末頃まで		7.1%	6.2%	6.1%	7.6%	5.4%	9.1%	7.7%	7.8%
11月末頃まで		6.3%	6.2%	6.6%	5.9%	2.7%	7.6%	5.6%	9.3%
12月末頃まで		22.0%	22.7%	19.7%	26.3%	23.1%	18.3%	22.1%	24.8%
来年にずれ込む		10.8%	12.9%	8.1%	16.1%	6.8%	11.2%	10.3%	11.6%
わからない		53.1%	51.5%	59.6%	44.1%	61.2%	53.3%	52.3%	45.7%
未回答		0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.7%	0.5%	2.1%	0.8%

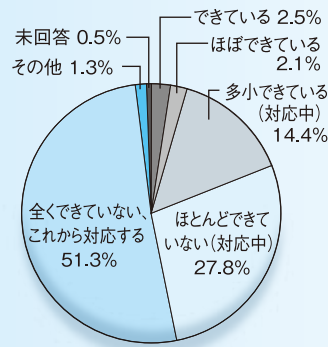
制度導入への準備ができている、又は現在準備中のもの(複数回答)

マイナンバー制導入で企業が取り組むべき具体的な10項目別に聞いた(複数回答)ところ、「準備ができている」又は「準備中」が最も多かったのは「個人番号の記載が必要な書類の洗出し」51.4%、次いで「個人番号の安全管理・保管方法」33.1%、「情報漏えい対策(セキュリティ対策)」28.9%、「個人番号を集める(取扱う)事務担当者」28.2%などが上位となった。一方で「収集対象者への周知方法・提出方法」(18.9%)、「収集対象者の洗出し(社内外)」(17.9%)、「帳票類の廃棄方法」(9.6%)などについては準備不足がうかがえた。



情報管理、給与計算ソフト等システム対応について

自社のコンピュータシステム対応状況

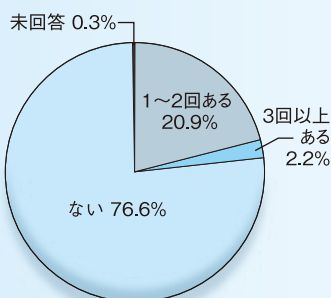


自社で導入されている情報管理、給与計算ソフト等コンピュータシステムのマイナンバー対応について聞いたところ、「できている」(できている、ほぼできている)企業は4.6%とこれも低い回答となった。「できていない」(ほとんどできていない、全くできていない)は79.1%、「その他」1.3%だった。

回答	業種	全体	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
できている		2.5%	1.5%	3.5%	4.2%	2.7%	2.5%	2.0%	1.5%
ほぼとできている		2.1%	4.0%	1.5%	1.7%	3.3%	1.0%	1.5%	1.5%
多小とできている(対応中)		14.4%	15.0%	13.0%	17.5%	8.7%	17.5%	13.5%	16.2%
ほとんどとできていない(対応中)		27.8%	38.0%	21.5%	21.7%	24.7%	30.5%	29.5%	24.6%
全くとできていない、これから対応する		51.3%	39.5%	59.5%	52.5%	57.3%	48.0%	50.5%	55.4%
その他		1.3%	1.0%	1.0%	2.5%	2.7%	0.0%	2.0%	0.8%
未回答		0.5%	1.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.5%	1.0%	0.0%

社外研修、セミナー等に参加又は社内で実施しましたか?

社内外の研修・セミナー参加実施状況



マイナンバー制度について、社外研修、セミナー等への参加や社内での実施状況を聞いたところ8割近くの企業が「ない」と回答した。

回答	業種	全体	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
1~2回ある		20.9%	26.5%	21.5%	20.8%	18.0%	18.0%	21.5%	18.5%
3回以上ある		2.2%	2.0%	3.5%	4.2%	2.0%	2.5%	0.5%	0.8%
ない		76.6%	71.0%	75.0%	75.0%	80.0%	78.5%	77.5%	80.8%
未回答		0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.5%	0.0%

### マイナンバー制度を何にて知りましたか？(複数回答)

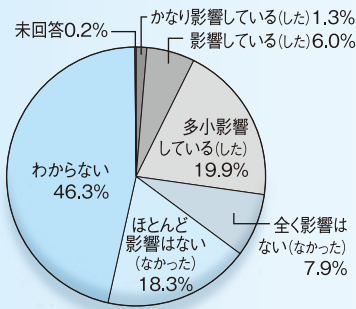
マイナンバー制度の情報を何で知ったかを聞いたところ(複数回答)、最も多かったのは「新聞等のマスコミ報道」89.9%。次いで「税理士等の専門家」が47.7%、「銀行・取引先等」28.8%、「知人等」16.5%、「その他」0.7%だった。

制度を何にて知りましたか？(複数回答)	業種	全体	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
89.9%	新聞等のマスコミ報道	89.9%	90.0%	91.0%	92.5%	88.0%	94.5%	83.0%	91.5%
47.7%	税理士等の専門家	47.7%	55.5%	51.0%	49.2%	35.3%	38.5%	56.5%	43.8%
28.8%	銀行・取引先等	28.8%	28.5%	37.5%	27.5%	23.3%	26.5%	30.5%	23.8%
16.5%	知人等	16.5%	12.5%	16.0%	20.0%	17.3%	16.0%	14.5%	23.1%
0.7%	その他	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.5%	1.0%	0.8%
0.2%	未回答	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%

### 制度対応の準備が業務にどの程度影響していますか？

制度の準備が業務に影響しているかを聞いたところ、「影響している(した)」(かなり影響、影響、多少影響)は27.2%となった。「影響はない」(全く影響はない、ほとんど影響はない)は26.2%。「わからない」が46.3%と半数近くに上った。

#### 対応の準備が業務への影響の程度

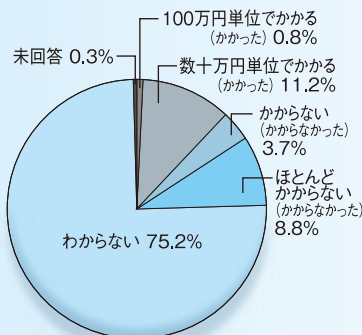


回答	業種	全体	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
かなり影響している(した)		1.3%	1.5%	1.5%	1.7%	1.3%	1.5%	0.5%	1.5%
影響している(した)(かなりと多小の中間)		6.0%	6.5%	6.0%	8.3%	2.7%	8.0%	5.0%	5.4%
多小影響している(した)		19.9%	21.6%	18.5%	20.8%	15.3%	23.0%	22.6%	15.4%
全く影響はない(なかった)		7.9%	5.5%	7.5%	7.5%	10.7%	8.5%	6.5%	10.8%
ほとんど影響はない(なかった)		18.3%	20.1%	16.0%	20.0%	19.3%	13.5%	19.1%	23.1%
わからない		46.3%	44.7%	50.5%	41.7%	50.7%	45.5%	46.2%	43.8%
未回答		0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%

### 制度対応、準備で見込まれる(かかった)費用

#### 対応、準備で見込まれる(かかった)費用

マイナンバー対応の準備でどの程度費用がかかるかについて聞いたところ、「わからない」が75.2%と、多くの企業が具体的な費用について把握ができていない状況がみられた。「数十万円単位でかかる」が11.2%、「100万円単位でかかる」は0.8%あった一方、「かからない」3.7%、「ほとんどかからない」も8.8%とあった。



回答	業種	全体	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
100万円単位でかかる(かかった)		0.8%	0.0%	0.5%	0.8%	0.7%	1.5%	2.0%	0.0%
数十万円単位でかかる(かかった)		11.2%	12.0%	9.0%	12.5%	9.3%	10.5%	13.0%	12.3%
かからない(かからなかった)		3.7%	5.5%	4.5%	5.0%	3.3%	2.5%	2.5%	2.3%
ほとんどかからない(かからなかった)		8.8%	10.5%	9.0%	7.5%	6.0%	9.5%	7.5%	11.5%
わからない		75.2%	71.5%	77.0%	74.2%	80.0%	75.5%	74.5%	73.8%
未回答		0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.7%	0.5%	0.5%	0.0%

# 地域密着を信条とした78か店のネットワーク

## 店舗のご案内

北おおさか信用金庫 店舗配置図



※地図はイメージです。

- |                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 吹田市水道部出張所</li> <li>◆ 吹田市役所出張所</li> <li>◆ JR吹田駅前さんくす出張所</li> <li>◆ イズミヤ千里丘店出張所</li> <li>◆ メロード吹田出張所</li> <li>◆ イオン南千里店出張所</li> <li>◆ フレンドマート岸辺出張所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 千里丘駅出張所</li> <li>◆ イオン高槻店出張所</li> <li>◆ セントラルマーケット出張所</li> <li>◆ ダイエー摂津富田店出張所</li> <li>◆ フレンドマート高槻美しが丘店出張所</li> <li>◆ チャオパルコ芥川出張所</li> <li>◆ 阪急オアシス高槻川西店出張所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ フレンドマート高槻川添店出張所</li> <li>◆ ジョーシン高槻大家店出張所</li> <li>◆ 関西スーパー西宮店出張所</li> <li>◆ サボイ出張所</li> <li>◆ マルヤス宮田店出張所</li> <li>◆ コープ島本出張所</li> <li>◆ イオン茨木ショッピングセンター出張所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ コープ茨木白川出張所</li> <li>◆ イオン新茨木店出張所</li> <li>◆ 豊中市役所出張所</li> <li>◆ チャオパルコ豊中出張所</li> <li>◆ 小曾根出張所</li> <li>◆ イオンタウン豊中緑丘SC出張所</li> <li>◆ イオン箕面出張所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 関西スーパー瑞光店出張所</li> <li>◆ 三国商店街出張所</li> <li>◆ 神崎川駅前出張所</li> <li>◆ イオン高見店出張所</li> <li>◆ 毛馬出張所</li> <li>◆ イオン大日SC出張所</li> <li>◆ ホームズ寝屋川出張所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 豊原出張所(旧豊原支店)</li> <li>◆ 豊原出張所(旧東淀川支店)</li> <li>◆ 千里丘西出張所(旧千里丘支店)</li> <li>◆ 大池出張所(旧大池支店)</li> <li>◆ 立命館大学 大阪いばらきキャンパス出張所</li> <li>◆ 庄内茶町出張所</li> <li>◆ ご相談フラガ チャオパルコ豊中</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

営業地域(地区別) 大阪府: 大阪市、茨木市、高槻市、吹田市、豊中市、箕面市、池田市、守口市、門真市、摂津市、寝屋川市、大東市、東大阪市、枚方市、八尾市、交野市、四條畷市、堺市、松原市、三島郡、豊能郡  
 兵庫県: 尼崎市、伊丹市、川西市、西宮市、宝塚市、川辺郡  
 京都府: 向日市、長岡京市、乙訓郡大山崎町

発行日 平成27年10月31日  
 発行 北おおさか信用金庫 総合企画部  
 住所 〒567-8651 茨木市西駅前町9-32  
 電話 072-623-4981(代)  
 ホームページ <http://www.kitaosaka-shinkin.co.jp/>  
 編集 株式会社 大阪彩都総合研究所

